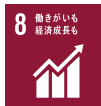


研究概要

外国語教育と21世紀型スキルを取り入れた理工系学生のエクスターンシップの取り組み



複雑化していく仕事や社会の変化に合わせた21世紀型スキルが提案されている。21世紀型スキルを目指した教育の重要性に加えて、グローバル社会に対応できるエンジニアの育成には、専門分野で外国語を駆使する能力と、国際企業において異文化間で協働する能力を伸ばす必要がある。

本学は平成26年から米国の航空機製造会社による半年間のエクスターンシップに参加している。本研究では、エクスターンシップが21世紀型スキルの育成と外国語習得に与える効果を測定し、カリキュラムでの活用法を探ると共に、21世紀スキルと外国語スキルを包括したアセスメント方法を検証する。

(本研究は平成30~32年日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)の助成を受けています。)



平成29年9月に東京で行われたエクスターンシップのセミナーにて研究活動の成果を発表する学生たち

今後の展開やメッセージ

今後は、学生のキャリア形成と産学連携の足掛かりとしてのエクスターンシップの可能性を広げ、外国語教育への応用を進めていく予定です。ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

研究者情報・共同研究者



井ノ口 悦子 講師・修士

基礎教育部 英語教育課程
南山大学外国語学部日本語学科卒。ウィスコンシン大学マディソン校東アジア言語文学部修士課程修了。1999年米国デイキンソン大学日本語教師。2009年南山大学日本語非常勤講師。2011年本学講師就任。

研究者情報URL

<http://www.kanazawa-it.ac.jp/kyoiku/boeing-externship-program.html>

Keyword

エクスターンシップ / 外国語教育 / グローバルエンジニア / 21世紀型スキル



藤井 清美 教授・修士

基礎教育部 英語教育課程
関西外国語大学外国語学部英米語学科卒。オレゴン大学 (University of Oregon) 大学院東アジア言語文学 (East Asian Languages and Literatures) 学部修士課程修了。コロラドカレッジ文化コーディネーター、ローレンス大学中国語日本語部日本語プログラム非常勤講師、アリゾナ大学東アジア研究学部日本語プログラム講師を経て、2010年本学准教授就任。2018年現職。

研究者情報URL

<http://kitnet10.kanazawa-it.ac.jp/researcherdb/researcher/RAHBAD.html>

Keyword

外国語教育 / 地域連携 / 21世紀型スキル